

## I. 評価基準 観点別学習状況の「B」に相当するのが評価基準です。

単元名	文法事項、表現	単元目標
Starter	小学校英語の復習	
Lesson 1 About Me	be 動詞・一般動詞（1・2 人称） What (...) do you ~ ? How many ...?	be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。 be 動詞と一般動詞の現在形（1・2 人称）の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。
Lesson 2 My Hero	助動詞 can When is ...?	助動詞 can の疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。誕生日について、When is ...? などを用いて、事実や自分の考えなどを伝え合う技能を身につけている。
Lesson 3 My Treasure	be 動詞 (is) what、who、him / her This is .... / This is not .... Is this ...? / What is this? Who is ...? / I like him [her].	be 動詞（3 人称）の肯定文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。
Lesson 4 My Summer Plans	I went to .... I enjoyed swimming.	I went to [ate / saw / enjoyed -ing] ....の意味や働きを理解している。
Lesson 5 Ms. Brown's Family	3 人称単数現在形、Whose ...?	3 人称単数現在形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。
Lesson 6 School Life in the U.S.A.	現在進行形、Which ...? Which ...?	現在進行形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。Which ..., A or B?の意味や働きを理解している。
Lesson 7 Athletes with Spirit	一般動詞（過去形）過去形（-ed） Did you? I did not....	一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。
Lesson 8 Discover Japan	be 動詞（過去形）、過去進行形、 You look ....	be 動詞の過去形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。過去進行形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解している。〈look+A〉の意味や働きを理解している。
Lesson 9 Emergency Food	未来を表す表現 (will / be going to ...)	助動詞 will の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。be going to ...の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。

## 2. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査 ・小テスト ・授業のプリント ・提出物（ノート、宿題、ワーク、ロイロノート等） ・パフォーマンステスト

②観点別評価と各教科資料との関係 ◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

観点 \ 学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	パフォーマンステスト	提出物	提出物の内容
知識・技能	100	◎	○	◎	○	○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100		○	◎	◎	○

## Ⅰ. 評価基準

観点別学習状況の「B」に相当するのが評価基準です。

単元名	文法事項、表現	単元目標
Unit 0 My Spring Vacation	動詞の過去形, 過去進行形, There is [are] ….	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。
Unit 1 A Trip to Singapore	be going to、助動詞 will SVOO、SVOC (C=名詞)	休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 2 Food Travels around the World	接続詞 when、if、that because	好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。
Unit 3 My Future Job	不定詞 (目的を表す副詞的用法) (原因を表す副詞的用法) (名詞的・副詞的用法) (形容詞的用法) It is …+to	自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 4 Homestay in the United States	have to, do not have to 助動詞 must, must not 動名詞 (目的語)	習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 5 Universal Design	疑問詞+to、主語+動詞+ (人) +疑問詞+to、主語+be 動詞+ 形容詞+that	身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。
Unit 6 Research Your Topic	比較表現 (…er, the …est) (more …, the most …) (better, best) (as … as ~)	身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
Unit 7 World Heritage Sites	受け身 (平叙文) (疑問文) (by … つき) (助動詞つき)	各地の世界遺産を紹介することができる。

## Ⅱ. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査 ・小テスト ・授業のプリント ・提出物 (ノート、宿題、ワーク、ロイロノート等)
- ・パフォーマンステスト

②観点別評価と各教科資料との関係 ◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

観点 \ 学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	パフォーマンステスト	提出物	提出物の内容
知識・技能	100	◎	○	◎	○	○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100		○	◎	◎	○

## Ⅰ. 評価基準

観点別学習状況の「B」に相当するのが評価基準です。

Unit0 受け身(受動態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態を用いて相手に尋ねたり、適切に回答することができる。</li> <li>・受動態の文構造を正しく理解することができる。</li> </ul>
Unit1 現在完了形(経験) 肯定文・疑問文・否定文 SVOC (C=形容詞) SVOO (that 節)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形(経験用法)を用いて理解したり伝えたりするために情報を整理して要点を捉えたり伝えたりすることができる。</li> <li>・make +(代)名詞+形容詞等の理解をもとに人の気持ちや状態の変化について理解し、SVOC(that 節)等の簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> <li>・SVOO(that 節)等の理解をもとに人や物が私たちに伝えることを理解したり表現することができる。</li> </ul>
Unit2 現在完了形 (完了・継続・完了進行形)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形(完了・継続・完了進行形)を用いて正しく書いたり、聞いたり、質問したり、応答したり、話したりできる。</li> </ul>
Unit3 It+be 動詞+(for)+to 不定詞 S+V(want など)+O(人)+to 不定詞 let[help]+(人など)+動詞の原形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・It+be 動詞+(for)+to 不定詞の文型を用いて正しく適切に表現できる。</li> <li>・S+V(want など)+O(人)+to 不定詞の文を正しく書くことができる。</li> <li>・let[help]+(人など)+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解して正しく適切に表現できる。</li> </ul>
Unit4 間接疑問文 SVOO(what 節) 現在分詞・過去分詞の文 後置修飾の文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問文の構造を理解し、書いたり、聞いたり、質問したり、応答できる。</li> <li>・SVOO(what 節)などの理解をもとに要点を捉えたり伝えたりすることができる。</li> <li>・現在分詞・過去分詞の後置修飾の文構造を理解することができる。</li> <li>・現在分詞・過去分詞の後置修飾の文を用いて、書いたり、聞いたり、質問したり、応答することができる。</li> </ul>
Unit5 名詞を修飾する文(接触節) 関係代名詞(主格) who, which, that の文 関係代名詞(目的格) which, that の文 接触節(関係代名詞の省略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞を修飾する文(接触節)の形・意味・用法を理解し、要点を捉えたり、情報を加えて説明できる。</li> <li>・関係代名詞(主格・所有格・目的格)の文構造を理解することができる。</li> <li>・関係代名詞を用いて、書いたり、質問したり、応答したり、読んだりできる。</li> <li>・接触節(関係代名詞の省略)の文構造を理解することができる。</li> </ul>

## 2. 評価方法

## ① 下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査 ・小テスト ・授業のプリント ・提出物(ノート、宿題、ワーク、ロイロノート等)
- ・パフォーマンステスト

## ② 観点別評価と各教科資料との関係◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

学習活動 観点	重み付け	定期考査	小テスト	パフォーマンス テスト	提出物	提出物の内容
知識・技能	100	◎	○	◎	○	○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100		○	◎	◎	○